

平成 30 年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第 6 号 (果樹)



かんきつは南部の以下の地域が対象です。
※西部：竹原市以西の沿岸島しょ部
東部：三原市以东の沿岸島しょ部

平成 30 年 8 月 10 日 発表 広島県西部農業技術指導所
対象期間 平成 30 年 8 月 10 日 ~ 9 月中旬

もくじ

- 1-(1) かんきつ病害虫の現況と予報 (概要) . . . P1
- 1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報 (詳細) . . . P2~4
- 2 果樹カメムシ類の発生状況 . . . P4
- 3 気象状況 . . . P5
- 4 お知らせ . . . P5

1-(1)		かんきつ病害虫の現況と予報 (概要)		8 月 1 日~8 日調査
病害虫名		現況	予報	防除上の注意事項 (防除時期)
黒点病		並	やや少	◇黒点病防除剤散布後、累積降水量が 250 mm を超えるか、1 か月経過したら追加で防除を行う。 ◇樹上の枯れ枝および園内の剪定枝は伝染源となるため、除去し園外で処分する。
かいよう病	西部	少	少	◇強風雨でかいよう病菌の感染が助長されるため、台風襲来前に防除を徹底する。 ◇窒素肥料の多施用による新芽の遅くまでの発生は感染を助長するため、肥培管理は適切に行う。 ◇ミカンハモグリガの食害痕から感染しやすいので、害された夏梢を切除し、防除の徹底を図る。
	東部	やや少	少	
ミカンハダニ		並	やや多	◇8 月以降に発生すると、果実の外観品質を損なうので注意する。 ◇薬液が葉裏にもかかるよう、ていねいに散布する。 ◇薬剤に対する感受性低下を防ぐため、同系統の薬剤の連用は避ける。
ミカンサビダニ		並 ※発生なし	—	◇特に、裾なり、内なりの果実での発生に注意する。 ◇薬液のかけむらがないようていねいに散布する。 ◇薬剤に対する感受性低下を防ぐため、同系統の薬剤の連用は避ける。
ナシマルカイガラムシ		やや多	—	◇孵化幼虫時期に薬剤散布を行うと効果が高い。 ◇発生が見られるほ場では、第 2 世代幼虫発生盛期の 8 月中旬に防除を行う。
ヤノネカイガラムシ		並 ※発生なし	—	◇発生が見られるほ場では、第 2 世代幼虫期の 8 月中下旬に防除を行う。 ◇移動性が低く、ほ場の一部に集中して発生することが多いため、寄生部位を中心に周辺の枝葉果実の状況を確認し、見つけ次第捕殺する。
イセリヤカイガラムシ		並 ※発生なし	—	

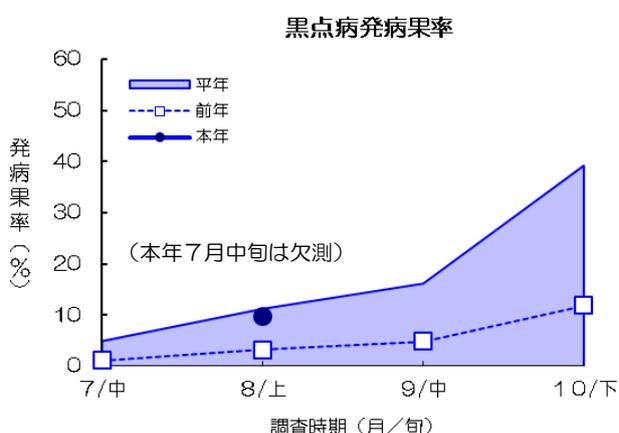
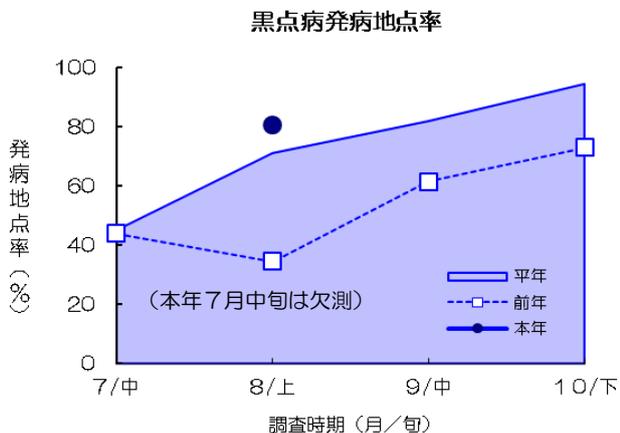
1-(2) かんきつ病害虫の現況と予報（詳細）

	現況（平年比）	予報の根拠	(+)：多発要因，(±)：平年並，(-)：少発要因
	並		
	予報（平年比）	◆巡回調査では，平年並の発生であった。	
	やや少	◆向こう1か月の降水量は，少ない確率が40%と予想されている(-)。	

《防除上の注意事項》

技術情報第2号（7月18日発表）を参考に防除を行う。

《巡回調査データ》



【発生量について】

「予報」「現況」は、「多，やや多，並，やや少，少」の5階級に区分しています。区分の方法は，原則として，過去10年間の同時期の調査結果の数値を，発生が多かった順に並べ，相対比較しています。

- 「多」 : 1番目（最多年）と同程度以上
- 「やや多」 : 2～3番目と同程度
- 「並」 : 4～7番目と同程度
- 「やや少」 : 8～9番目と同程度
- 「少」 : 10番目（最少年）と同程度以下

かいよう病



現況(平年比)

西部：少
 東部：やや少

予報(平年比)

西部：少
 東部：少

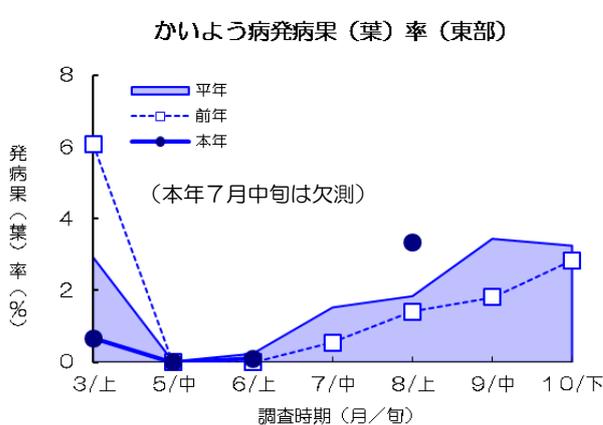
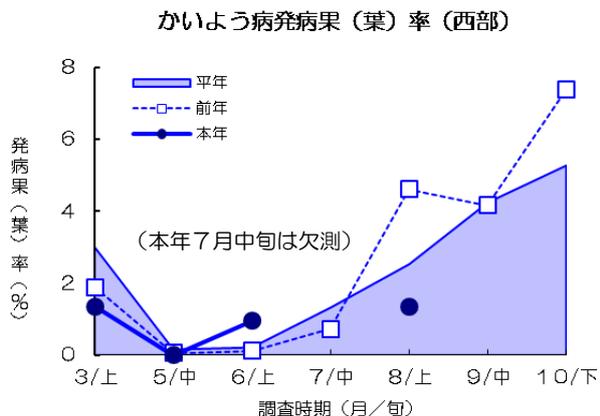
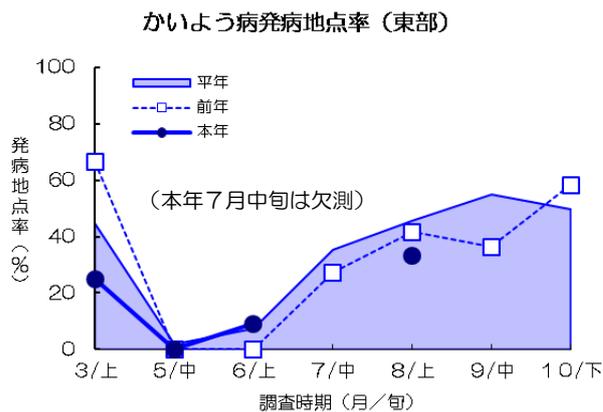
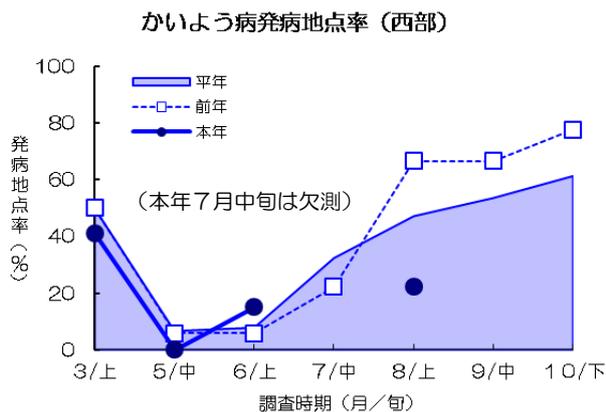
予報の根拠

(+)：多発要因，(±)：平年並，(-)：少発要因

◆巡回調査では，西部で少なく，東部はやや少ない発生であった。

◆向こう1か月の降水量は，少ない確率が40%と予想されている(-)。

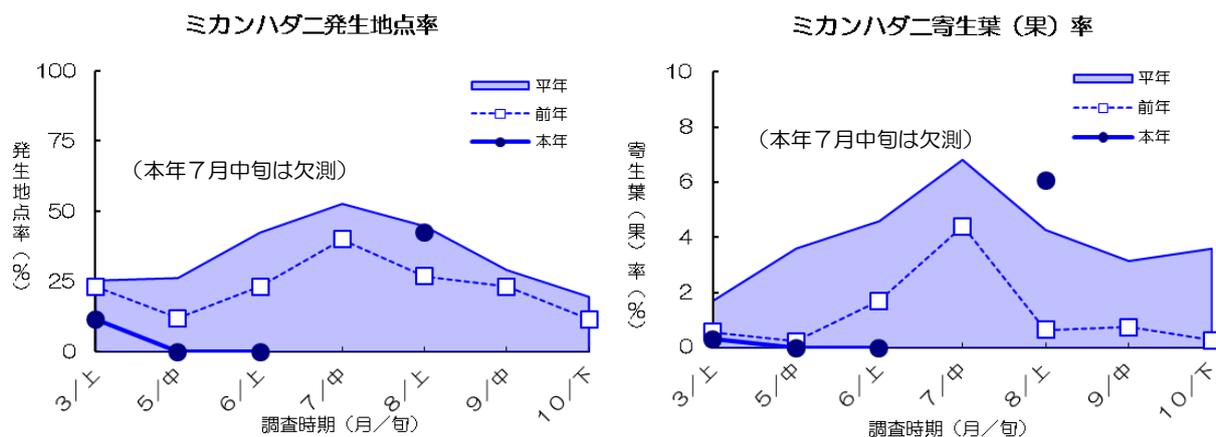
《巡回調査データ》



(注) 調査対象部位は，3/上：旧葉，5/中～7/中：新葉，8/上以降：果実

<h1>ミカンハダニ</h1> 	現況 (平年比)	予報の根拠	(+): 多発要因, (±): 平年並, (-): 少発要因
	並		
	予報 (平年比)	◆巡回調査では、平年並の発生であった。 ◆向こう1か月の気象は、気温は高い確率 80%、降水量は少ない確率 40%と予想されている (+)。	
	やや多		

《巡回調査データ》



(注) 調査対象部位は、3/上～5/中：旧葉、6/上～9/中：新葉、10/下：果実

2 果樹カメムシ類の発生状況



県内5地点の集合フェロモントラップへの誘殺状況は、8月第1半旬まで南部で「やや多～多」、中北部で「やや少～平年並み」で推移しています。

表 県内各調査地点におけるチャバネアオカメムシ累積誘殺数(～8月第1半旬) 単位：頭

設置地点	本年	平年※1	多発年※2	多発年以外※3
東広島市安芸津町	1247.8	657.1	1743.0	191.8
福山市神辺町	236.6	73.3	141.3	32.5
庄原市東城町	35.0	197.4	529.9	54.9
庄原市高野町	43.0	458.2	1322.0	24.4
世羅町本郷	111.0	609.5	2101.6	166.5

※1 各設置地点の平年とは、以下の期間の平均をあらわします

東広島市安芸津町、世羅町本郷、庄原市東城町、庄原市高野町：過去10年(2008～2017年)
 福山市神辺町：過去8年(2010～2017年)

※2 多発年は、注意報を発令した3年(2010, 2012, 2014年)の平均をあらわします

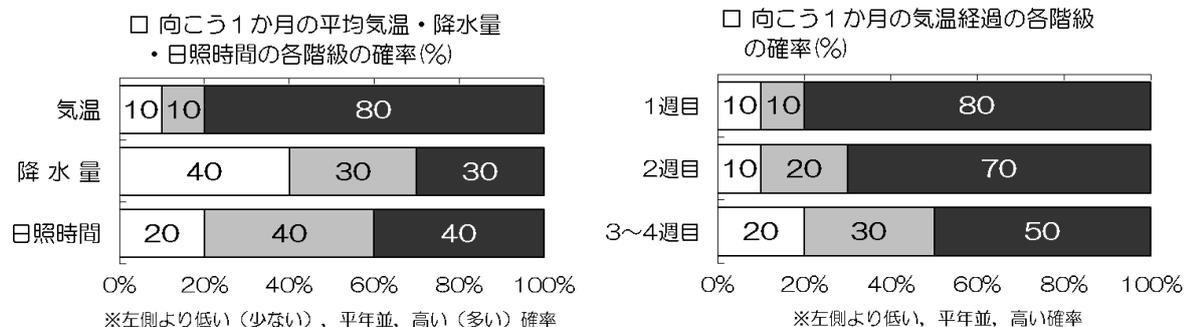
※3 多発年以外は、2008年以降の多発年(2010, 2012, 2014年)を除いた年の平均をあらわします

ほ場内をよく見回り、発生が認められた場合は速やかに防除を実施してください。
 また、集合フェロモントラップへの誘殺状況等、今後発信する情報に注意しましょう。

3 気象情報

中国地方1か月予報

(広島地方気象台8月9日発表, 8月11日から9月10日までの天候見通し)
 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。向こう1か月の平均気温は、高い確率80%です。
 日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。



4 お知らせ

◇病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。



広島県 植物防疫

検索

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>

6月1日から8月31日まで、**農薬危害防止運動**を実施しています。

農薬を使用する際は、ラベル表示を十分に確認して、
 使用方法や注意事項を守り、農薬による危害と事故を防ぎましょう。

今回の病害虫発生予察情報に関するお問合せ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
 〒739-0151 東広島市八本松町原6869
 電話：082-420-9662 (直通)